

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## アニコム ホールディングス株式会社（証券コード:8715）

### 【据置】

長期発行体格付	A
格付の見通し	安定的
債券格付	A

## アニコム損害保険株式会社（証券コード:ー）

### 【据置】

長期発行体格付	A
格付の見通し	安定的

### ■ 格付事由

- アニコムグループは、保険持株会社であるアニコム ホールディングスの傘下に中核のアニコム損害保険のほか、動物病院支援事業、動物医療の研究・臨床事業、ペット関連のネットサービス事業などを担う複数のグループ会社を擁する。アニコム損保は国内初のペット保険専門の保険会社で、5割弱のシェア（21年度の保険料ベースでの推計）を有する業界のリーディングカンパニーである。アニコムグループのグループ信用力は、差別化されたビジネスモデルや競争力のある商品性などを背景とした堅固な事業基盤、比較的高く安定した収益力、リスク対比でみた資本の充実度などを評価し「A」相当とみている。保険事業における競争優位性の確保と収益力の向上に加え、シナジー創出事業においても利益を拡大することが、グループ信用力にプラスに寄与すると JCR は考える。
- 国内のペット保険市場は、ペット保険の認知度向上やペットの家族意識の高まりなどにより高い成長性を維持しており、ここ数年で多くの会社が新規参入している。アニコムグループは過度な価格競争を回避しつつも優れた商品性とサービス提供で競争優位性を確保しており、その事業基盤の強さは JCR の当初想定を上回っている。アニコム損保の最大の強みは「窓口精算システム」という人の健康保険制度と同様の仕組みを採用したビジネスモデルにあると JCR は考える。この利便性の高い仕組みを全国の動物病院と構築してきたことが、グループの事業基盤の強さにつながっている。グループは創業当時から「予防型保険会社グループ」の実現を志向している。ペット保険を通じてペットの健康増進を図るため、遺伝子検査による遺伝病の撲滅、腸内フローラ測定や健康診断による健康サポート、個体のリスクに応じたフードの提供などを推進し、病気の予防と早期発見につなげる取り組みに注力してきた。足元では「入って健康になるペット保険」を標榜し、競合他社に大きく先行した取り組みを進めている。ブリーディングサポート事業も手掛けており「保険事業」と「保険事業以外の事業」とのシナジーの追求によって、グループの企業価値を向上させていく方針である。
- 保有契約件数は順調に拡大しており、契約継続率は約9割と高い水準で安定している。グループ連結の23/3期決算は、経常収益565億円、経常利益36億円と経営環境が変化する中でも総じて堅調に推移していると言える。もっとも、コロナ禍の影響などによる通院頻度の高まり、インフレ進行に伴う診療費単価の上昇などにより、アニコム損保単体でみたE/I損害率は58.9%とここ数年は過年度に比べてやや高い水準で推移している。ペットの健康支援などによる損害率の改善効果に加え、販売チャネルの多様化による保険事業の収益規模の拡大、代理店手数料の削減などによる収益性改善の取り組みの成果などにも注目していく。コロナ禍はペット保険事業にプラス効果とマイナス影響をもたらしたが、24/3期以降はこの影響が剥落していくとみており、損害率がどの程度の水準に落ち着いていくのかを確認したい。

- (4) グループ全体のリスク対比でみた資本の充実度は A レンジ相応の水準にあると JCR はみている。現行規制のソルベンシー・マージン比率は業界平均との比較で低い水準にとどまっているが、ペット保険は規制上、保険種類が単独で区分されていないため比較的高いリスク係数が適用されており、一般保険リスクが実態よりも大きく算出されている側面がある。25 年度から導入される経済価値ベースのソルベンシー規制においてはペット保険に関するリスク係数が新設され、より実態に近い係数が適用される見込みである。リスク係数が変わることでも質的なリスク量が変化する訳ではなく、グループ信用力への直接的な影響はないが、新規制の最終化に向けた検討状況を見守っていく。資産運用面では市場変動の影響を受けているが、安全性と流動性の確保を優先するスタンスは変わらずリスクは限定的である。
- (5) グループの事業はペット保険関連に集中しており、リスクプロファイルは一般的な損保会社とは大きく異なる。ペット保険は小口契約の集積で基本的にリスクは分散されており、大数の法則がはたらくので損益のボラティリティは抑制されている。もっとも、感染症の蔓延などによる支払事由の発生頻度の高まりや価格競争、動物愛護管理法の改正などが利益の圧迫要因となる可能性がある。リスク・リターンのバランスの確保が重要であり、支払実績のモニタリング、予定支払率とのかい離などへの適切な対応が求められるよう。

#### 発行体：アニコム ホールディングス株式会社

アニコムグループの保険持株会社。発行体格付はグループ信用力と同等としている。中核会社の安定的な収益力に裏付けられたキャッシュフローを有しているうえ、事業投資や調達に対するグループの方針を踏まえると、ダブルレバレッジ比率が中期的に 100%を一定程度上回る水準まで上昇していく蓋然性は低いとみており、持株会社の構造劣後性を格付に反映していない。アニコムグループのペット関連事業に対する戦略的投資のペースは比較的強いと JCR はみており、事業投資に対するスタンス、グループの資本政策、持株会社単体の負債と資本の調達のバランスなどに注目していく。

#### 発行体：アニコム損害保険株式会社

アニコムグループの中核会社。アニコム ホールディングスが議決権の 100%を有する。日本初のペット保険専門の損保会社で、業界のトップシェアを握るリーディングカンパニーである。堅固な事業基盤を背景に安定的な収益力を有し、財務の健全性は比較的高い。発行体格付は、アニコムグループの中核会社であることなどを踏まえ、グループ信用力と同等としている。

(担当) 宮尾 知浩・阿知波 聖人

#### ■ 格付対象

##### 発行体：アニコム ホールディングス株式会社

##### 【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A	安定的

  

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第 1 回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	50 億円	2020 年 9 月 11 日	2025 年 9 月 11 日	0.300%	A

##### 発行体：アニコム損害保険株式会社

##### 【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A	安定的

## 格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2023年8月18日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：宮尾 知浩  
主任格付アナリスト：宮尾 知浩
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「損害保険」(2013年7月1日)、「金融グループの持株会社および傘下会社の格付方法」(2022年9月1日)として掲載している。
5. 格付関係者：  
(発行体・債務者等) アニコム ホールディングス株式会社  
アニコム損害保険株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：  
  - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
  - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：  
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

### ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

### ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

### ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

**株式会社 日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル